



ヒト型抗ヒトIL-4/13受容体モノクローナル抗体

デュピクセント® 皮下注 200mg シリンジ

DUPIXENT® デュピルマブ(遺伝子組換え)製剤

生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

取扱説明書

この取扱説明書は大切に保管してください。

「おくすりに関するご質問」はサノフィくすり相談室で承ります。
くすり相談室 0120-109-905 (フリーダイヤル) 月~金 9:00~17:00 (祝日・会社休日を除く)

デュピクセント®の操作方法と医療費制度へのご質問は、
デュピクセント®相談室へお問い合わせください

専任
スタッフが
対応します

デュピクセント®相談室

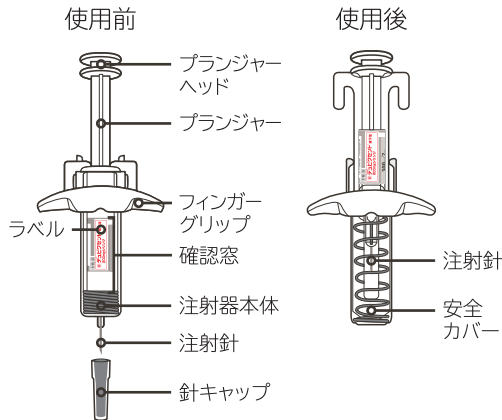
フリーダイヤル
0120-50-4970
ゴ ー ヨ ク ナ レ

1 操作方法へのご質問
24時間365日

2 医療費制度へのご質問
平日9:00~17:00

※2は医療費制度のご説明のみとなります。個人の治療費に関するご質問にはお答えできません。また、自治体独自の助成については市区町村の窓口へお問い合わせください。
※デュピクセント®相談室では、対応品質の向上を目的として通話を録音しています。あらかじめご了承ください。

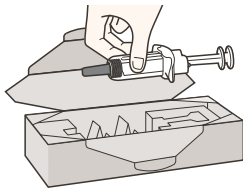
各部の名称



このシリンジにはデュピクセント®200mgがあらかじめ充てんされています。このシリンジは1回のみ使用できる使い捨てタイプです。

使用手順

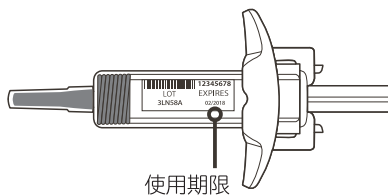
1



注射器本体の中央部分を持ち、箱から注射器を取り出します。

- ▲ 注意 ■ 注射の準備ができるまで、針キャップを外さないでください。外したら直ちに投与してください。
- 破損している注射器は使用しないでください。

2



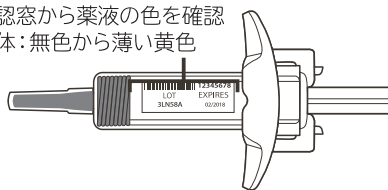
使用する製剤が「デュピクセント®皮下注200mgシリンジ」であり、
使用期限が切れていないことを確認します。
また注射に必要なものを用意します。

*消毒用アルコール綿1枚(注射器の箱には入っていません。) *廃棄用容器(注射器の箱には入っていません。)

- ▲ 注意 ■ 使用期限を過ぎた注射器は使用しないでください。

3

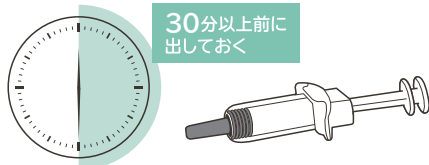
確認窓から薬液の色を確認
液体:無色から薄い黄色



注射器の確認窓から、注射器内の液体が濁っていないこと、
また色が無色から薄い黄色であることを確認します。

- ▲ 注意 ■ 液体が変色している、又は濁っている場合、薄片や粒子がみられる場合は使用しないでください。
- 薬液中に気泡がみられる場合がありますが、問題ありません。

4



30分以上前に
出しておく

注射器を平らな場所に30分以上置き、室温に戻しておきます。
(注射の30分以上前に冷蔵庫から注射器を取り出します。)

- ▲ 注意 ■ 注射器を温めないでください。
- 注射器を直射日光の当たる場所に置かないでください。
- 冷蔵庫から出した後は長時間放置しないでください。

大切なお知らせ

- 本剤をご使用になる前に、本書を必ずお読みになり、その指示に従ってください。
- もし本書をお読みになり十分に理解できない場合には、主治医又は看護師にご相談いただくか、操作方法の訓練を受けた方の手助けを受けてください。
- 本剤のご使用にあたっては、投与間隔や適切な使用方法(注射部位、注射方法)について必ず主治医等の指示に従ってください。
- このシリンジは皮下注射用です。ご自身又はご家族による注射が可能です。ただし、12歳以上の子どもが投与する場合は、大人の監視のもとに投与してください。また、6か月以上12歳未満の子どもへ投与する場合は、介助者が投与してください。
- 使用時に再度確認できるような本書を大切に保管してください。

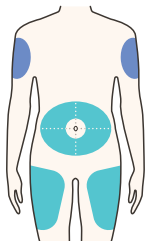
ご使用にあたってのご注意

- 投与毎に注射部位を変えてください。
- 固いところに落としたり、破損したりした注射器は使用しないでください。
- 針キャップが紛失している、又はしっかり取り付けられていない注射器は使用しないでください。
- 注射の準備ができるまで、プランジャーには触れないでください。
- 衣服の上から注射しないでください。
- 注射器内に気泡がみられる場合がありますが、問題ありませんので注射器内の気泡を取り除く必要はありません。
- 針刺し事故を防ぐために、注射後に注射針を自動的にカバーする安全カバーが取り付けられています。
- プランジャーは絶対に後ろに引かないでください。
- 他の薬剤と混合しないでください。
- 本剤は1回使用の製剤であるため、再使用しないでください。

保管方法

- 注射器は小さな子どもの手の届かないところに保管してください。
- 未使用の注射器は元の箱に入れたまま2~8°Cの冷蔵庫に保管してください。
- 注射器は注射の30分以上前に冷蔵庫から取り出し、室温に戻した後速やかに使用してください。
- 注射器を振らないでください。
- 注射器を温めたり、凍らせたりしないでください。
- 注射器を直射日光の当たる場所に置かないでください。
- 室温(25°C以下)で14日間を超えて放置された注射器は廃棄してください。

5



■ 注射可能部位
■ 注射可能部位
(患者さんご自身が
注射する場合は避ける)

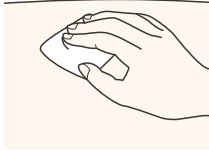
注射部位を選びます。

- 患者さんご自身が投与する場合は、腹部(へその周り5cmは避ける)、大腿部の皮下に注射します。
- 患者さん以外の方が患者さんに注射する場合は、上腕部(二の腕)の皮下に注射することも可能です。

▲ 注意

- 正常な皮膚の部位に注射してください。皮膚が敏感な部位、皮膚に損傷、打撲や傷のある部位、アトピー性皮膚炎の強い炎症を伴う部位への注射は避けてください。
- 前回注射した部位とは違う部位に注射してください。
- 腹部に注射する場合は、左図のように上下左右で4カ所に分けて前回の注射とは別の箇所を選んで注射してください。

6



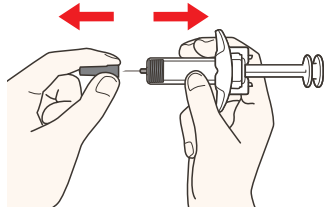
両手をよく洗います。

消毒用アルコール綿で注射する部位を消毒し、
注射をする前に皮膚を乾かします。

▲ 注意

- 消毒後は注射する部位に触れたり、息を吹きかけたりしないでください。

7

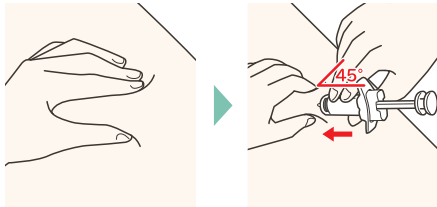


注射器本体の中央部分を持ち、針キャップを外します。

▲ 注意

- 注射直前まで針キャップを外さないでください。
- 一度外した針キャップは再度取り付けないでください。
- 注射針には触れないようにしてください。
- 針キャップを外したら、針が他の物と接触しないようにし、素早く注射を行ってください。
- 注射器内に気泡がみられる場合がありますが、問題ありませんので気泡を取り除く必要はありません。

8



注射針をしっかり挿入するために、

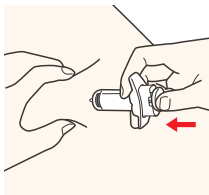
注射する部位の皮膚をひだ状につまみます。

注射針をひだ状にした皮膚に約45度の角度で完全に挿入します。

▲ 注意

- 衣服の上から注射しないでください。
- 注射針を挿入してから、注射液を注入する前に、しびれがないか確認してください。しびれがある場合は針先を少し引いてください。

9



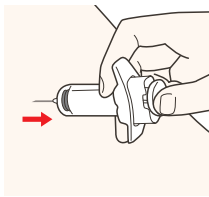
皮膚をつまんでいる手を緩め、

プランジャーヘッドを注射液がなくなるまでゆっくり押し込みます。

▲ 注意

- 注射の際に抵抗を感じても、問題はありません。引き戻すことなく、ゆっくり押し込んでください。
- プランジャーは絶対に後ろに引かないでください。

10



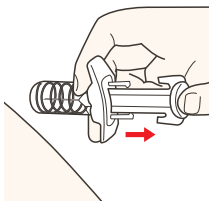
プランジャーヘッドを押しのまま、

挿入したときと同じ角度で、注射針を抜きます。

▲ 注意

- 針キャップは再度取り付けないでください。

11



注射針を抜いた後に、プランジャーヘッドを押していた指をゆっくりと緩めます。

安全カバーがスライドして、注射針が安全カバーに覆われます。

出血がある場合は、消毒用アルコール綿で注射部位を軽く押さえてください。

▲ 注意

- 注射が終わった後も、針キャップは再度取り付けないでください。
- 注射後、注射部位をもんだり、こすったりしないでください。
- 注射器は再利用しないでください。

12



使用済みの注射器と針キャップは廃棄用容器に入れ、

医療機関から指示された方法に従って廃棄してください。

▲ 注意

- 針キャップは再度取り付けないでください。
- 使用済みの注射器と針キャップは、速やかに廃棄用容器に収納してください。
- 使用済みの消毒用アルコール綿は、各市区町村の収集方法に従って家庭ごみとして捨ててください。
- 廃棄用容器は、小さな子どもの手の届かないところに保管してください。
- 廃棄用容器は再利用しないでください。

製造販売：サノフィ株式会社

販売提携：リジェネロン・ジャパン株式会社

〒163-1488
東京都新宿区西新宿三丁目20番2号